

2月出しチューリップの冷蔵温度と品種特性

農業研究センター 農産園芸研究所 花き部

研究のねらい

最近、チューリップの切り花栽培では、品種が多様化し、球根冷蔵温度などについて不明な品種が多く、不開花や草丈不足などの障害が生じている。

そのため、2月出しの作型で品種毎の球根冷蔵温度を明らかにした。

研究の成果

球根は、9～12cm球を用い、10月3日から13℃で2週間予備冷蔵し、本冷蔵を2℃及び5℃で10月20日から8週間行い、さらに、13℃で1週間冷蔵した後、12月25日に、定植した。また、栽培は、ビニールカーテン2層固定張りのガラス室内で行い、定植から1月10日までは遮光率52%の寒冷紗で遮光した。

平均最低温度は、12月で8.3℃、1月～2月で9.0～11.7℃であった。

1. 冷蔵温度により、切り花重、葉数、草丈、脚長、葉長、葉張りなど、切り花の形質に品種間差が見られた。品種ごとの冷蔵温度は、形質、採花率や草姿から考えて次のように分けられる。

- (1) 冷蔵温度2℃が適する品種：

「イルドフランス」「ミスホーランド」「ゴールデンメロディー」「ロッテルダム」「アラジン」「ダグラスバーダー」「メイワンダー」「アンジェリケ」。

「イルドフランス」「ロッテルダム」は葉が伸びすぎ、「メイワンダー」は花茎が伸びすぎる傾向がある。

- (2) 2℃または5℃で大差ない品種：

「レーンバンデルマーク」「ネグリダ」「ウエストポイント」「ホワイトドリーム」「ゴールデンパレード」「ドリーミングメイド」「ピンクシュープリーム」「グリーンランド」。

「レーンバンデルマーク」は花茎が短く「ネグリダ」は葉が伸びすぎ、「ゴールデンパレード」「グリーンランド」は花茎が伸びすぎる傾向がある。

- (3) 5℃が適する品種：

「シャーリー」「ロザリオ」。

- (4) 「プラエスタンスフッシリア」は両区ともプラスチックが多発し、この作型には不適である。

表 冷蔵温度と切り花形質

品種名	冷蔵温度 ()	平均開花 (月日)	切花重 (g)	草丈 (cm)	脚長 (cm)	葉長 (cm)	葉張り (cm)
イルドフランス	2	2.12	51.5	49.1	15.0	27.3	15.7
レーンバンデルマーク	2	2.12	39.0	37.9	9.8	22.5	14.2
ミスホーランド	2	2.14	33.4	52.0	14.6	3.5	11.3
ネグリダ	2	2.14	38.0	43.7	7.5	26.5	15.4
ゴールデンメロディー	2	2.14	37.8	51.3	14.9	22.8	13.8
ロッテルダム	2	2.15	45.2	45.0	6.6	28.1	19.3
ウエストポイント	2	2.15	23.8	48.7	10.5	24.4	12.2
ホワイトドリーム	2	2.16	29.1	36.7	8.8	17.1	13.5
ゴールデンパレード	2	2.17	32.2	49.2	8.4	16.6	9.4
アラジン	2	2.20	24.3	50.1	13.2	22.8	17.8
シャーリー	5	2.20	24.9	44.0	7.5	19.5	9.6
ロザリオ	5	2.20	53.1	52.0	9.6	21.7	11.4
ドリーミングメイド	2	2.21	31.0	45.7	9.5	24.9	12.2
ダグラスバーダー	2	2.23	38.2	46.3	10.2	22.8	15.2
メイワンダー	2	2.24	55.3	54.5	9.2	23.1	15.2
アンジェリケ	2	2.27	58.1	49.6	7.3	21.1	13.6
ピンクシュークリーム	2	2.28	27.5	49.3	9.6	18.7	10.6
グリーンランド	2	3.4	51.5	67.3	10.6	26.2	12.1